令和２年度
浮間地区地域円卓会議　概要

■日時：　令和2年12月11日（金）　19時00分開始　20時30分終了

■場所：　浮間ふれあい館　第1・2ホール

■参加団体：　浮間地区町自治会連合会　、青少年浮間地区委員会　、
浮間小学校PTA　、西浮間小学校PTA　、浮間中学校PTA　、
赤羽消防団第七分団　、浮間子どもティーンズセンター　、

■会議概要

浮間高齢者あんしんセンターの主催する地域包括ケア連絡会と共催で行い、2つのテーマ（①震災時の連携、②地域の情報共有）について話し合いを行った。

１．開会のあいさつ　（浮間地区町自治会連合会会長　市川満智子）

２．第1部『災害時、地区本部は何をする？』

震災時の地域の拠点である地区本部について、その概要を共有した。

（主な意見）

・災害時に地域振興室長がなかなか参集できないことが予想されるため、その他の参集職員と地域住民で面識があるといい。
・区民センターの鍵を持たせる職員を増やした方がいいのではないか。
・地区本部の仕組みが明確になった。これを踏まえて、浮間地区としてどう協力していくのかを考えなければならない。
・地区本部は、情報連携・指示の拠点ということを皆さんが理解し、そのことを広めていくことが大切だと思った。

３．第2部『地域の情報共有について』

地域の情報共有について、現状の問題点やそれぞれの団体で行っている工夫などをグループごとに話し合った。

（主な意見）

・個々のつながりの情報共有を発展させ、面として拡がりを持てるようになっていければいいと思う。
・集団同士でつながれる環境の整備が大切だと感じている。
・自分たちの団体ではSNSを活用した情報共有を行っている。
・情報共有は防災の面でも非常に重要な要素だと考えている。発災時だけではなく、日頃より地域住民が交流を持つことで、災害時の共助につながる効果があると思う。
・個人情報保護と地域連携の必要性という相反するテーマではあるが、少しずつ連携が進むように取り組んでいきたい。

４．閉会のあいさつ　（浮間地区町自治会連合会副会長　吉川勇）